

令和3年4月、ヤングケアラーについて国による初の全国調査の結果が公表され、「世話をしている家族がいる」と回答した子どもは、中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%であるなどの実態が明らかになった。

大阪府においても、府立高校生を対象とした昨年のアンケート調査では、回答者約2万人のうち6.5%が「世話をしている家族がいる」と回答した。

ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の成長や教育に影響が生じるといった課題があり、大きな社会問題となっている。

大阪府においては、子どもや若者が家族の世話のために自身の可能性をあきらめることなく、自分の将来を自分で切り拓いていくことが叶う社会の実現に向けて、ヤングケアラーの支援に取り組むこととしている。

そこで、次の問いに答えなさい。

問1 ヤングケアラーを生み出す社会的背景について、あなたの考えを述べなさい。

問2 今後、ヤングケアラーを支援していくため、社会全体でどのような取組みを推進していくべきか、あなたの考えを述べなさい。